



平成 25 年 8 月の台風 18 号で発生した土砂崩れの様子（忠野）

り、世界的な海面水位の上昇によって津波や高潮の影響が大きくなることも予想されています。

小浜でも、平成25年に竜巻や台風による大きな被害が発生しましたが、そのような災害が起こる確率が、大きく増えることになります。

私たちにできること

日本は、1997年に締結された、温室効果ガスの排出削減を義務付けた「京都議定書」の数値目標（2008年～2012年）を、達成することが

できました。しかし、昨年パリで開催された国際会議COP21で、今後の温暖化対策の国際枠組みである「パリ協定」が締結されたように、今後もしろいろなレベルで温室効果ガスの削減に努めなければなりません。

小浜でも、多くの人や団体が、地球環境のために、温室効果ガスの削減につながる取り組みや活動を行っています。今回は、その取り組みの一部を紹介します。

今、地球のために、私たちに何ができるのか。改めて考えてみませんか。

家庭でできること



今富公民館の屋上に設置されたソーラーパネル（和久里）

太陽光発電

最近、太陽光発電を行うソーラーパネルを一般家庭の屋根に設置する人が多くなってきました。

市でも、今富公民館（和久里）や小浜小学校（駅前町）の屋上にソーラーパネルを設置するなど、導入に力を入れています。

太陽光発電は、夜間などに発電することができないため、安定性の面で弱い部分があります。しかし、燃料を必要としないため、二酸化炭素などが発生しないという大きなメリットがあります。

地球環境にやさしく、クリーンなエネルギーとして、太陽光発電は近年急速に普及が進んでいます。一般家庭でもぜひ設置を検討してみてください。

節電意識が強くなりました



昨年太陽光発電を導入した
重田 敏明 さん（45 歳・湊）

昨年8月に家を新築した際に、太陽光発電のパネルを設置しました。

まず、その日に使った電気の量などをモニターで確認するようになりました。何にどれだけ電気を使うのか分かってくると、無駄にしないように、という節電意識が強くなりましたね。

また、蓄電できると停電の時も安心できます。

今冬は暖冬ということもあり、温暖化を感じません。燃料を使って発電しない分、環境にやさしいと思うので、少しでも役に立てばうれしいです。

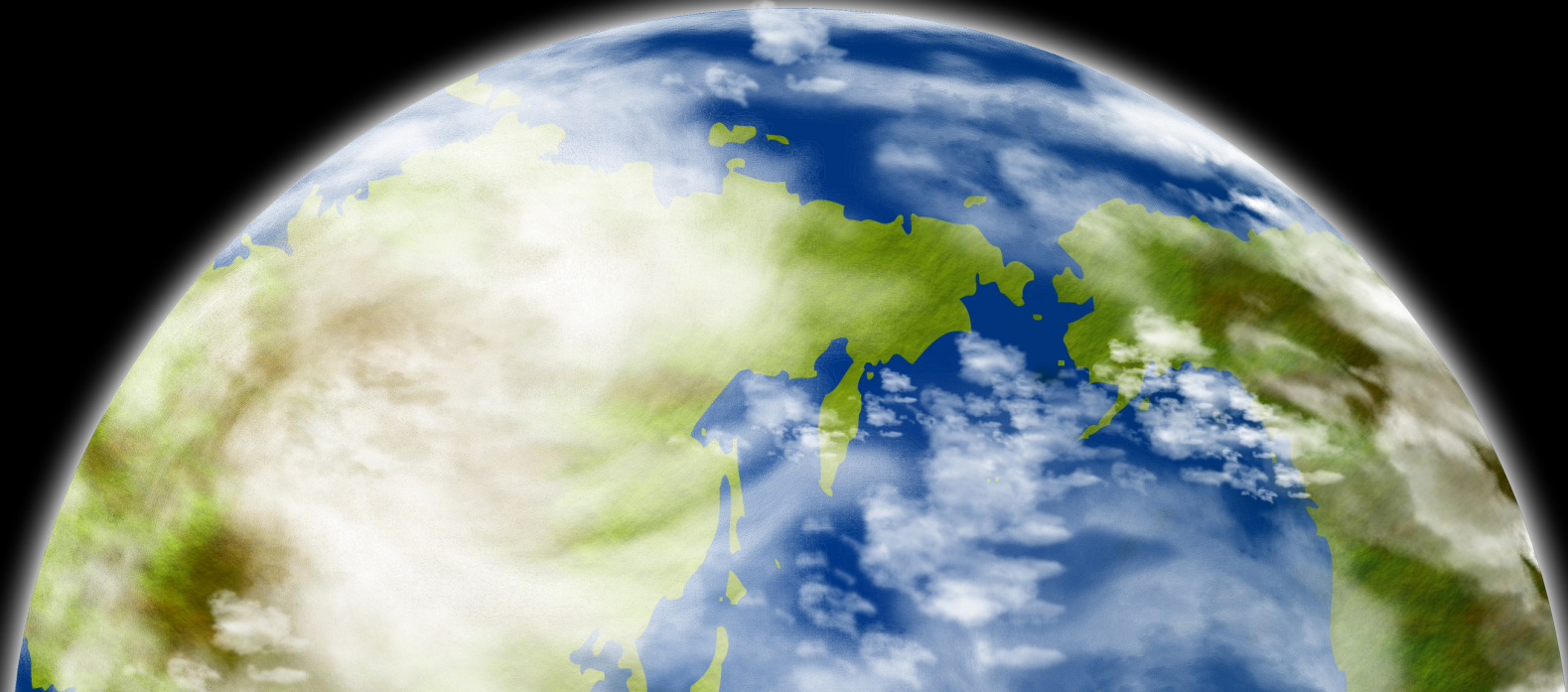
迫る地球温暖化に対して 私たちができることは……

世界中で問題となっている地球温暖化。日本でも、ここ100年で平均気温は約1℃上がっています。今、地球温暖化対策のために何ができるのでしょうか。

■問い合わせ 環境衛生課 ☎64・6016

今、地球のために 何ができるだろう？

特集



近年、世界的に異常気象が起こりやすくなっています。その原因は、20世紀半ば以降に見られる地球規模の気温の上昇、いわゆる地球温暖化だと考えられています。

地球温暖化は、人間の活動による温室効果ガス（二酸化炭素、メタンなど）の増加によってもたらされている可能性が高いと言われています。

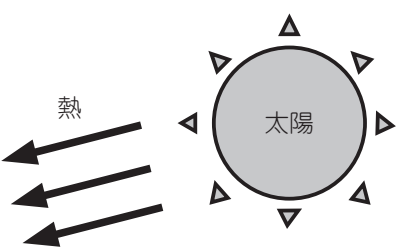
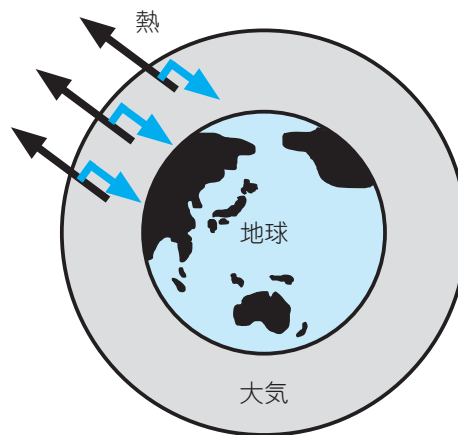
温暖化の影響は甚大

地球温暖化による影響は、世界中に及びます。例えば日本では、21世紀末には年平均気温が今より約3℃上がると予想されています。

気温が上がることで積雪が減ったり、熱中症が増えたりするのはもちろん、降水量が増したり、豪雨の発生頻度が増加すると考えられています。

豪雨の発生頻度が増えることで、河川が氾濫する可能性が大きく増加した

地球温暖化の仕組み



大気中の温室効果ガスが、地球から逃げる熱を一部吸収し、地表に戻すことで、地球を暖めています。

温室効果ガスが増加するほど、地球がより暖まってしまいます。

子どもたちとできること



グリーンカーテンからゴーヤを収穫する様子（市庁舎）

グリーンカーテン・環境教室

市内7つの保育園では、毎年春ごろになると、グリーンカーテンを設置しています。グリーンカーテンとは、ゴーヤなどのつる性の植物をネットに絡ませて、カーテン風に仕立てるものです。周囲の室温を下げる効果があり、エアコンを使わずに部屋を快適にすることが出来ます。また、市では保育園児などを対象とした環境教室を行っています。職員が保育園に出向き、地球温暖化や、グリーンカーテンについて話したり、園児が電気自動車を体験したりします。グリーンカーテンは誰でも簡単に出来ます。ぜひ皆さんの家庭でも取り組んでみてください。

環境への意識が持てる子に



口名田保育園
野村 恵 園長（44歳）

当園では、毎年グリーンカーテンを設置しています。今年は、キュウリやゴーヤを植えました。室内も涼しくなり、苗植えから収穫までの一連の作業を園児と共に、行うので、植物を育てる経験にもなっています。環境教室では、多くの子が興味を持って聞いてくれました。電気自動車の走行音が静かなことに驚いていましたね。地球温暖化が進行している昨今、園児には、自分たちの将来のために、環境への意識が持てる子になってほしいですね。

～今、一人一人が～

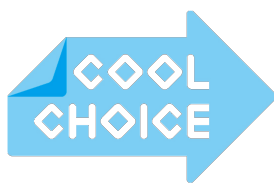


「賢い選択」は、あらゆる場面で問われます。例えば、家電を買うときに、省エネの商品を選ぶ。近い場所へ移動するときは、公共交通機関や自転車を使ってみる。家族や友人と同じ部屋で過ごし、冷暖房を節約する。もちろん、今回紹介した4つの事例も、「賢い選択」の一つです。



現

在、環境省では、今後新たに推進していく国民運動として、「COOL CHOICE」を掲げて、普及啓発を行っています。これは、温室効果ガスの排出量を削減するために、省エネ・低炭素型の製品・サービス・行動など、温暖化対策に資するあらゆる「賢い選択」を促す運動です。



未来のために、いま選ぼう。

こういった選択は、小さな日常の選択かもしれません。しかし、その影響力は決して小さくありません。小さな日常の選択の積み重ねが、地球を変え、未来を変えていくのです。今、一人一人ができること。未来の地球のため、未来の小浜のために、少しでも「賢い選択」をしてみませんか。

参考：「COOL CHOICE」公式ウェブサイト <http://funtoshare.env.go.jp/coolchoice/>

事業者ができること



貯蔵庫を雪で覆い、雪室を製作している様子（上根来）

雪室（貯蔵庫）

現在、上根来区で、同区の元住民と市民団体などからなる「小浜市雪室協議会」が、雪室を活用した食品貯蔵に取り組んでいます。

雪室とは、雪の冷気と湿度を利用して、食材を保存・熟成させる天然の冷蔵庫です。同区では、間伐材で貯蔵庫を作り、高さ5mほどの雪山で覆って雪室が製作されています。

雪室は、冷蔵庫より温度の変化が無く、湿度が常に高いため、保存した食材は甘味が増したり、おいしくなるといわれています。

電気を使わない省エネの貯蔵庫であるばかりではなく、その効果でも現在注目を集めています。

上根来に新たな役割を



特定非営利活動法人 WAC おおま
中島 阿児 さん(31歳・遠敷五丁目)

過去2回雪室で食品を貯蔵しましたが、生鮮食品が一カ月経っても新鮮なままだったり、日本酒がまろやかな味になっていた。効果に驚きました。今年はシカ肉などの熟成を試す予定です。雪室は自然エネルギーを使うため、二酸化炭素の排出量も大きく抑えられていると思います。今後は、商品化で収益を得て、事業を継続できるようにしたいです。産業が無くなった上根来に、新たな役割が生まれ、再び人が行き交うようになるのが理想ですね。

行政ができること



左からスズキイーレッツ、トヨタコムス、三菱アイミーブ（市庁舎）

電気自動車

市では、現在計3台の電気自動車と電気バイクを導入し、普及啓発に努めています。

電気自動車は、一般の自動車と違い、ガソリンを燃焼せず、走行中に排気ガスを排出しないため、二酸化炭素の排出量を大きく削減できる自動車だと期待されています。

維持費が安価であるうえ、近年では、コンビニエンスストアや道の駅などでも充電可能となり、日常的に使用できるようになっています。

連続走行距離の短さが課題ですが、通勤や送り迎えに使う車や、近場で使うためのセカンドカーなどの場合は、便利に利用することが出来ます。

購入を検討してほしい



小浜市環境衛生課
藤田 晃弘 技師（30歳）

平成24年に初めて電気自動車を導入しました。乗ってみて一番感じるのは、走行音が静かなことですね。充電に少し時間がかかりますが、乗り心地が良く、電気代などの維持費はガソリン車に比べて大幅に安いです。二酸化炭素の排出削減になるのはもちろん、充電スポットも増えて利用しやすくなっているの、いろいろな人に購入を検討してほしいですね。今後、地区のイベントなどでも電気自動車を展示したいと思っていますので、興味のある人や団体は、ご連絡ください。